

JANOG29  
IPv4アドレス移転の実際  
～事前資料～

さくらインターネット  
研究所 大久保 修一

# セッションの背景

- 以前よりIPv4アドレス枯渇後の世界について議論されてきました。
  - インターネットはIPv6に移行するのか？ IPv4は残り続けるのか？
  - IPv4アドレスはどのように取引されるのか？ 取引市場ができるのか？ 値段は付くのか？
  - 買ってきたアドレスはどのように経理処理をするのか？
  - 裏取引は？ 台帳の一貫性は保たれるのか？
  - インターネットの経路数増加に影響は？
  - などなど・・・

# セッションの目的

- 2011年8月よりJPNICでも移転制度が開始され、およそ半年が経過した現在、移転事例もいくつか出てきました。
- 本セッションでは、アドレス移転の現状を総括し、一事業者の移転事例の紹介を行います。

# 発表者紹介



JPNIC川端さん

JPNICにおけるアドレス移転の状況、  
ポリシーの動向について説明いただきます。



さくらインターネット 田中社長

さくらインターネットにおけるアドレス移転の  
事例について紹介いたします。

# 議論のフォーカス

- 以下については、今回のセッションでは議論の「対象外」とさせていただきます。
  - IPv4アドレス移転制度の是非
  - IPv6のデプロイ、インターネットのIPv6への移行について